『フィッシング』　作：岩本憲嗣

■登場人物

　後藤恵一（ごとうけいいち・29歳・♂・出会い系サイト運営）

　後藤優（ごとうまさる・25歳・♂・後藤の弟）

　楠田友夫（くすだともお・23歳・恵一の後輩）

○マンションの一室

　　電話をかけている後藤恵一(29)手には新聞。デスクに向かいノートＰＣを物凄い速さで

　　叩き続ける楠田友夫(23)。大きなため息をつき電話をきる後藤。

後藤　　繋がらない。やっぱり金田の所だったみたいだな東京都三鷹市の出会い系サイト

　　　　運営っていったらあそこしかないもんな。

楠田　　でも何して警察に？ウリとか？

後藤　　ネカマ。

楠田　　はぁそれだけ？ちょっと女のフリしてメールの相手してやるだけで？

後藤　　女がいないのに女性会員がいることをウリにしてたのが詐欺なんだとさ。

楠田　　は？それってオレ達もヤバイっしょ？

後藤　　な、そろそろ次考えないといけないな。こんな楽して儲かる仕事ないんだけどな。

楠田　　楽してるのは先輩だけっしょ？俺１日何百件メールしてると思ってるんすか？

後藤　　五月蝿い奴だな。分かったよ、手伝ってやるからこっちに何件か回せ後藤。

楠田　　楽なのばっかり送っておきましたよ。こっちが女だと思っていきなり名前や住所

　　　　さらしてる獣（けだもの）のリスト。

後藤　　気が利くな。こいつらも馬鹿だよな。こうやって男からメール貰って……ん？

楠田　　どうしたんすか？

後藤　　いや、なんでもない。

○優の部屋

　　携帯電話をかけている後藤優(25)。

優　　　あのね母さん、そんな心配しなくたって立派に生活してますよ。大丈夫大丈夫仕

　　　　事だって上手くいってますって、他に何を心配するっての？

　　ノートＰＣをいじりつつ話し続ける優。

優　　　ははは、それこそ一番心配しなくていいって、知らないの凄く持てるんだよ僕。

　　　　今日だってまた女の子からメール来ちゃった。うん、じゃぁ、心配しないでね、

　　　　本当。

　　電話を切る優。ＰＣをいじる優。

優　　　ふふ。優君のこともっと知りたいよぉだって。名前は……メグミちゃんか。

　　黙々とメールを打ち出す優。

○後藤の部屋

　　　デスクに向かって熱心にＰＣを叩く後藤。

楠田　　どうしたんすか先輩？やけに熱心すね。

後藤　　俺仕事大好きだから。

楠田　　またまた。ま、俺の仕事が減るからいいんすけど。そうだ、これ食べます？弟の

　　　　嫁がつけたんすけど……梅干。

後藤　　じゃぁ一つ貰う。……酸っぱ。

楠田　　二人で漬けたんだってノロけられましたよ。俺と一緒でワルだったのにすっかり

　　　　丸くなりやがって。

後藤　　色ボケだな。

楠田　　そうそれっすよ。馬鹿みたいっすよね。

後藤　　馬鹿、弟なんてみんな馬鹿なもんだよ。兄はそれを助けてやんないと。

楠田　　え？あぁ、どうしたんすか？

　　後藤、黙々とＰＣを叩き続ける。

○優の部屋

　　ＰＣに向かう優。

優　　　えぇ？趣味？趣味かぁ。特にないんだよな。ないってのも良くないよな。でも下

　　　　手に嘘ついてつっこまれると困るし……よし釣り。まさか釣り好きなんてないで

　　　　しょ。

　　優の携帯が鳴る。寝転んだままとる優。

優　　　はいもしもし。あぁ先輩。いいっすね先輩は余裕あって。え？何言ってるですか。

　　　　だってもう一件ヒットしてるじゃないですか。こっちは全然ですよ」

　　　起き上がり、片手でＰＣをいじる優。

優　　　あ、でも今一件ヒットしそうなんですよ。その時は手伝って下さいね。お願いです

　　　　よ。

　　電話を切る優。両手でＰＣを叩く優。

○後藤の部屋

　　窓際に立って外を見る楠田。外は雨が降っている。

楠田　　あ～ぁさっきまで晴れてたのに。分かんないもんすね天気なんて……でもそれ以

　　　　上に分からないのは先輩っすよ。

　　振り返る楠田。椅子に座って新品の釣竿を振っている後藤。

楠田　　なんすかそれ？いつから釣りなんて始めたんすか？ってか仕事して下さいよ。

後藤　　釣りは明日から始める。仕事は休むから宜しくな。

楠田　　休むって、ちょ、今日俺一人っすか？

後藤　　馬鹿、休むってのは明日の話だよ。

楠田　　はぁ？聞いてないっすよ！えぇ！！

後藤　　部下は上司に口答えしない。

　　後藤、釣竿で楠田をつつきながらＰＣをみつめてほくそ笑む。

○渋谷駅・モヤイ像前

　　めかした格好の優が携帯片手にやってくる。辺りをキョロキョロしている。

優　　電話しよう。

　　優、携帯電話をかける。優の背後で着信音が聞こえる。振り返る優。そこには釣竿を

　　抱えた後藤が立っている。

後藤　　久しぶりだな。

優　　　嘘……兄さん？

○釣堀

　　人のまばらな釣堀。後藤と優が並んで腰掛けている。釣竿を垂らす後藤。

優　　　驚いた。兄さんいつ性転換したの。

後藤　　馬鹿かお前。あのな……俺は悲しいぞ。お前本当の本当に馬鹿だな、ウチみたい

　　　　なのに引っかかるなんて」

優　　　え？兄さんメグミと言う名で女として……。

後藤　　んなわけないだろ。

優　　　じゃぁメグミさんは今日は急用が出来たから代わりに兄さんが……。

後藤　　現実見ろ現実。メグミなんて女は存在しないし、むしろどんな名前の女も存在し

　　　ない。いくらメール送っても返事書くのは俺か俺よりムサい男だけだ。

優　　　え？……嘘でしょ？それは嘘だ。

後藤　　残念。本当だ。……お前はこんな出会い系なんかにうつつを抜かすために東京に

　　　来たのか？少しは真面目に生きろ。

優　　　あのさ、その言葉そのまま兄さんに返すよ。仕事は？

後藤　　ＩＴベンチャーの社長……って言えば聴こえはいいが要は出会い系サイトの運営。

優　　　男だけの？

後藤　　そう。

優　　　それおかしいよ。兄さんバンドやるから東京来たんだろ？そもそもなんで１０年

　　　　も連絡よこさないわけ？母さん心配……。

後藤　　メンツってものがあるだろう。……バンドは諦めた。でもあれだけデカイ口叩い

　　　　てでてったからな、ビッグになってからじゃないと戻れない。

優　　　そんなの馬鹿みたいだよ。

後藤　　あぁ馬鹿だ。でも少しはビッグになったぞ。

　　後藤、財布からキャッシュカードを取り出す。

後藤　　母さんに渡してくれ。暗証番号は母さんの誕生日だから。

優　　　は？どういうつもり？

後藤　　この仕事は結構儲かるんだ。

優　　　いらないよ。……それよりさ。

　　優、携帯を取り出しかける。

優　　　もしもし母さん？うん。彼女に代わる。

　　優、後藤に携帯を突き出す。

優　　　お金なんていいからさ、声……ほら。

　　後藤、躊躇した後に渋々電話をとる。

後藤　　もしもし？あ……うん…うん…うん……ごめん、優に戻す。

　　後藤、優に携帯を渡す。

優　　　もしもし？驚いた？あのね、もっと驚くこと教えてあげようか？兄さんね、今度

　　　　バンドに仕事で海外行くんだって。２、３年。

後藤　　は？ちょっと優！

優　　　うん、じゃまたね。うん。

　　電話を切るり地べたに置く優。

後藤　　どういうつもりだ？なんであんな嘘……。

優　　　嘘？ううん。……にしても釣れないね。

後藤　　そりゃ初心者だから……。

優　　　じゃぁ僕が変わるよ。これでもプロだし。

　　優、後藤から釣竿を受取る。

後藤　　プロ？お前今仕事何やってるんだ？

優　　　だからね、釣りをするのが仕事なんだよ。

後藤　　は？

優　　携帯よく見てみてよ。

　　　後藤、優の携帯を見る。そこには警視庁のピーポ君のストラップ。

後藤　　あぁ、何ていったけこれ、警察のマスコットの……。

優　　　そう、ごめん……僕そこに勤めてるんだ。

　　気配を感じて後藤が振り返ると警察手帳をもった男が立っている。

後藤　　これ……そうか。

優　　　見て兄さん、釣れたよ。

　　優が魚を釣り上げる。釣り上げられた魚は必死に口をパクパクさせている。

　　【終】

※ご利用上の注意※

・本脚本はどなたでも無料にてご利用いただけます。

・ご利用に当たっての改変などに制限は設けておりません。皆様のご都合に応じて自由に改変頂いてかまいません。

・本脚本をご利用頂く際は必ず作者（gumba1227@hotmail.com）までご一報頂けますようお願い致します。

・但し、練習での使用などの場合はご連絡の必要はございません。

・連絡が必要かどうかの基準は以下の通りでございます。

　※連絡不要の場合

　　・仲間内で集まっての練習でのご利用。

　　・Skypeなどを介しての第三者の聴取・視聴が出来ない形でのご利用。

　※連絡が必要となる場合

　　・ツイキャスやニコ生など第三者の聴取・視聴が可能な状況下でのご利用。

・連絡を要する形でのご利用の際は、必ず作品名・作者名をどちらかに記載いただけますようお願い致します。

　その他ご不明な点ございましたらお気兼ねなく下記までご連絡下さい。

　gumba1227@hotmail.com（岩本）